

平成19年8月16日
溶学研第19 - 33号

委員各位

社団法人 溶接学会
軽構造接合加工研究委員会
委員長 菅 泰雄
JIW No.3 委員会
委員長 里中 忍
(公印省略)

開催案内

第78回軽構造接合加工研究委員会を下記の通り開催いたしますので、万障お繰り合せの上、ご出席下さいますようにご案内申し上げます。

なお、ご出欠は、回答欄にご記入の上、e-mail(s_kogure@tt.rim.or.jp)にて

平成19年9月4日(火)までにお知らせ下さい。

記

1.日時

平成19年 9月 11日(火) 11:00 ~ 16:35

2.場所

大阪大学 荒田記念館 (案内図参照)
〒567-0047 茨木市美穂ヶ丘11-1
交通手段は大阪大学接合科学研究所ホームページの所在地・交通を参照
<http://www.jwri.osaka-u.ac.jp/about/access.html>

3.幹事会開催のお知らせ

当日もしくはメールにてお知らせいたします。
役員及び幹事(またはその代理)の方は是非ご出席下さい。

質疑は、自由討論の場にしたいと思います。活発なご質問、ご意見をお待ちしております。

一事業所から3名以上ご出席いただく場合には、3名目の方から参加費として、1名につき2,000円納入願いますのでご了承下さい。なお、この場合には、あらかじめお知らせ下さい。

特集テーマだけでなくこれ以外の発表資料も募集しております。発表していただける方は事務局または幹事までご連絡下さい。現場ニュース、研究速報も歓迎いたします。

昼食は、各自ご用意下さい。

【軽構造接合加工研究委員会 INFORMATION】

軽構造接合加工研究委員会では、委員会情報のWWWサービスを行っております。
次のアドレスにアクセスしてみてください。

<http://www.cda.ics.saitama-u.ac.jp/jws-MP/>

ただし、これには本研究委員会参加委員のみ限定のサービスも組み込まれています。このサービスを受けるにはパスワードが必要です。溶接学会事務局に会社名、申込者名及び e-mail アドレスを付けてお問い合わせ下さい。後日 e-mail を通じて個別にお知らせします。

【書籍販売】 ご希望の方は事務局へお問い合わせ下さい

抵抗溶接研究委員会(軽構造接合加工研究委員会の前身)及び抵抗溶接研究討論会の配布資料一覧表
一冊¥1,000(送料別)で頒布しております。

各参加委員会社の便に供するようにしております。この一覧表には、抵抗溶接研究委員会分の全資料 377 件と研究討論会分の全資料 141 件のタイトルと著者名、及びページ数と図表数がまとめてあります。

アルミスポット溶接分科会の成果報告書(『アルミニウム合金板とアルミ鋳物の接合技術』)

平成8年7月10日に開催しました資料を販売しております。

委員会委員には特別価格1冊 5,000 円(送料別) < 一般販売価格:¥12,000- >

共同調査結果の生データも分かり易く整理されて多数掲載されていますので、ご購入されれば有用な資料となると思われます。

(JAAA 2002) 資料「21 世紀の自動車における接合技術」

平成14年7月25日に開催しましたシンポジウム資料を販売しております。

資料集1部	5,000 円
同 CD-ROM1枚	5,000 円
資料集1部+CD-ROM	6,000 円(各税込・送料別)

(JAAA 2005) 資料「21 世紀の自動車における接合技術」

平成17年10月13～14日に開催しましたシンポジウム資料を販売しております。

資料集1部	5,000 円
同 CD-ROM1枚	5,000 円
資料集1部+CD-ROM	6,000 円(各税込・送料別)

第 78 回軽構造接合加工研究委員会プログラム

1. 日 時:平成19年9月11日(火)11時～16時35分
2. 場 所:大阪大学 荒田記念館(大阪府茨木市美穂ヶ丘 11-1)
3. プログラム(都合により、若干変更される場合がありますので、予めご了承をお願い申し上げます。)

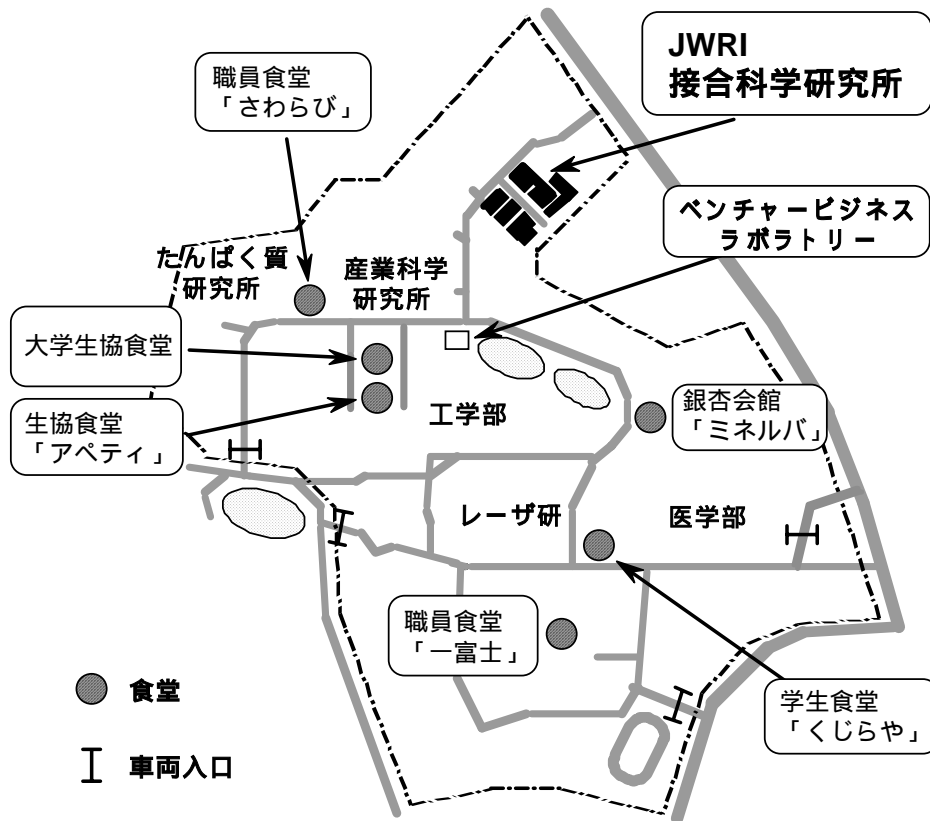
時 間	題 目	講 演 者
11:00 ~ 11:05	委員長挨拶	
11:05 ~ 11:45	Welding Penetration Control of Aluminum Pipe by Monitoring Backside Image of Molten Pool Using Vision Sensor (MP-423-2007)	Ario Sunar Baskoro、兜森正志 (慶応大学大学院) 菅 泰雄 (慶応大学)
<p>水平に固定されたアルミニウム合金管の全周 TIG 溶接における溶接の監視と溶け込み制御について検討した。ここでは、視覚センサを用いてパイプ裏側から溶融池裏面を観察し、画像処理によりその形状・寸法を自動計測して、適応的に溶接条件制御を行うシステムについて述べる。</p>		
11:45 ~ 13:00	昼食および休憩(幹事会の開催)	
13:00 ~ 13:30	委員会(軽構造接合加工研究委員会・JIW委員会)議事	
13:30 ~ 14:10	高張力鋼板とアルミニウム合金板の 異種金属塑性接合 (MP-424-2007)	安部洋平(豊橋技術科学大学) 加藤 亨(ポップリベットファスナー) 森 謙一郎(豊橋技術科学大学)
<p>近年、自動車の軽量化のために高張力鋼板とアルミニウム合金板の利用が拡大している。高張力鋼板とアルミニウム合金板は融点が大きく異なるため一般的に自動車で用いられる抵抗スポット溶接では接合が難しい。そこで、融点に関係なく接合できる塑性変形を利用したセルフピアスリベットとメカニカルクリンチによる高張力鋼板とアルミニウム合金板の異種金属塑性接合を紹介する。</p>		
14:10 ~ 14:50	各種アルミニウム合金の高出力 ファイバーレーザによる溶込み特性と溶接現象 (MP-425-2007)	長山展公、水谷正海 川人洋介、片山聖二 (大阪大学接合科学研究所)
<p>各種アルミニウム合金、特に、A5083 に対して高出力ファイバーレーザ溶接を行い、溶込み特性とビード外觀改善法および内部欠陥低減法について検討した。特に、高速度カメラによる溶融池表面挙動の観察および X 線透視観察法によりキーホール挙動や気泡の発生について明らかにし、ファイバーレーザ溶接現象とポロシティ発生機構の解明を試みた結果などを紹介する。</p>		
14:50 ~ 15:10	休 憩	
15:10 ~ 15:50	ダイカスト材の溶接で発生する ブローホールを抑制する溶接条件 (MP-426-2007)	柳原恵美、菅野 靖、青山俊三 (株)アーレスティ 技術部 仲原 啓二 (株)ヨロズ 設計部技術開発グループ)
<p>ダイカスト材にはガスが含有されているため、溶接時にブローホールが発生し、溶接強度のばらつきが大きくなり信頼性が低下してしまう。また、発生するブローホール量は含有ガス量以外に、溶接入熱に相関がある。そこで本稿では、交流パルス MIG 溶接を用い、極性比率を調整することで溶接入熱を制限し、ダイカスト材にガスがある程度含まれていても、ブローホールの発生を抑制できる溶接方法および条件の検討をおこなった。</p>		
15:50 ~ 16:30	電子ビーム溶接およびティグ溶接による ロストックス精密鋳造アルミニウム合金と 展伸材との異種接合性 (MP-427-2007)	大久保通則(日本大学) 竹中健一(日本大学大学院)
<p>精密鋳造法による A201(Al-Cu-Ag)合金並びに A357(Al-Si)合金と展伸材 A7075(Al-Mg-Zn)との異種合金間の溶接法として電子ビーム溶接とティグ溶接を適用した。これらの板厚 15 mm の溶接継手に対して、引張、衝撃特性並びに成分偏析などの諸特性を評価し、溶接性に対して検討を加えた。</p>		
16:30 ~ 16:35	副委員長挨拶	

大阪大学接合科学研究所荒田記念館へのご案内

1. 大阪（梅田）駅からでは，阪急電車千里線にて終点の北千里駅（約30分）下車．
2. 新大阪駅からでは，地下鉄にて終点の千里中央駅（約10分）で下車し，阪急バス「阪大本部前」行きに乗り換え，阪大本部前停（約15分）下車．または，千里中央にて大阪モノレールに乗り換え，阪大病院前駅（約20分）下車．
3. 上記ルートで下車後は下記案内図をご覧ください．
北千里駅より徒歩約30分
阪大本部前停および阪大病院前駅より徒歩約15分
4. なお，新大阪駅からでは，地下鉄にて終点の千里中央駅（約10分）で下車し，タクシー（「阪大吹田キャンパス・接合科学研究所」と運転手にお伝え下さい）を利用するのが最も早い．
運賃は約1500円．



大阪大学吹田キャンパス 食堂案内



大阪大学接合科学研究所

〒567-0047

大阪府茨木市美穂ヶ丘11番1号

電話 06(6879)8678